

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末3月31日
中間9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(〒541-8502)
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.dnt.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
(証券コード4611)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

公式Instagramアカウントを開設



ユーザーネーム (ID)

 **dainippon_toryo_official**

10月1日(金)に当社公式Instagramアカウントを開設いたしました。本アカウントでは、製品の情報や塗料採用実績、社内外の活動などの情報を随時発信いたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

第139期中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

大日本塗料株式会社



代表取締役社長 里 隆幸

経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて
地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と
豊かな暮らしの実現に貢献できる
企業を目指します。

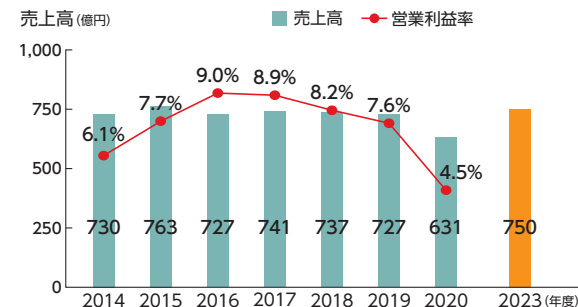
代表取締役社長の里 隆幸でございます。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。この度の新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様には、謹んでお見舞いを申し上げます。

Q 2021年度上半期の業績をお聞かせください。

A 当上半期の当社を取り巻く事業環境は、一部の業種で持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復基調にありますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響等により、厳しい状況が続きました。先行きにつきましては、ワクチン接種の進展による社会経済活動の回復が期待される一方、原材料価格の高止まりや半導体不足による景気への影響等が懸念され、依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの上半期の連結業績は、国内塗料事業を中心に需要が回復し、売上高が328億1千7百万円(前年同四半期比8.0%増)となりました。利益面では、原材料価

● 創立100周年に向けた今中期経営計画の基本方針



中計目標
2023年度
売上高 750億円
営業利益 66億円

創立100周年に向けて
持続的成長力を持つ企業を目指す

成長基盤を活用した“変革の断行”

- 提供価値の強化
- 価格競争力の強化
- 販売体制の強化
- 労働生産性の向上
- 海外事業の強化

前々中計
2014~16

前中計
2017~19

今中計
2020~23

創立100周年に向けた成長戦略

2029年7月
創立100周年

格の高騰による影響が生じているものの売上高の増加により、営業利益は17億4千6百万円(同114.2%増)、経常利益は17億5千2百万円(同68.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億2千万円(同122.5%増)となりました。

Q 今後の取り組みについて教えてください。

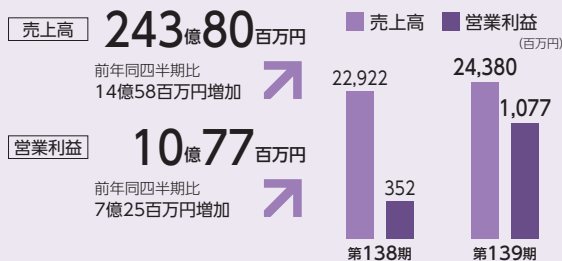
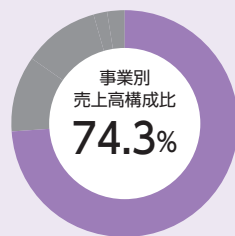
A 当社グループでは、前期より中期経営計画(2020年度~2023年度)(以下「中計」)をスタートさせ、「提供価値の強化」、「価格競争力の強化」、「販売体制の強化」、「労働生産性の向上」、「海外事業の強化」の5つの重点施策に取り組んでおります。初年度は新型コロナウイルス感染症対策に注力しましたが、2年目の当期以降は中計目標の達成に向け、施策への取り組みを本格化させてまいります。

また、来年4月4日に予定されている東京証券取引所の新市場区分の移行について、本年11月9日付けで「プライム市場」選択申請を決議いたしました。本年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードでは、「取締役会の機能発揮」、「企業の中核人材における多様性の確保」、「サステナビリティを巡る課題への取組み」等を踏まえて、ESG(環境・社会・ガバナンス)経営を一層推進させる内容になっており、プライム市場上場会社には、より高い水準での取り組みが求められています。当社グループにおいても、今後ESGへの取り組みを強化し、8年後の創立100周年や更にその先をも見据え、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月

国内塗料事業

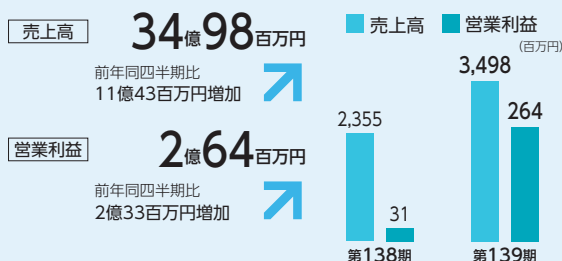
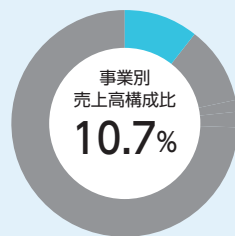


TELEHOUSE TOKYO Tama5

東京都多摩市にあるKDDI(株)のデータセンター「TELEHOUSE TOKYO Tama5」鉄骨部に当社塗料が採用されています。

- ・構造物分野で機能性新製品の拡販や新市場への展開への取り組みが奏功し、売上高が前年同四半期を上回りました。
- ・工業分野では新型コロナウイルス感染症の影響による需要の落ち込みから緩やかに回復し、売上高が前年同四半期を上回りました。
- ・利益面では、原材料価格の高騰による影響が強まるものの、売上高の増加により前年同四半期を上回りました。

海外塗料事業

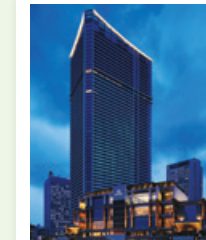
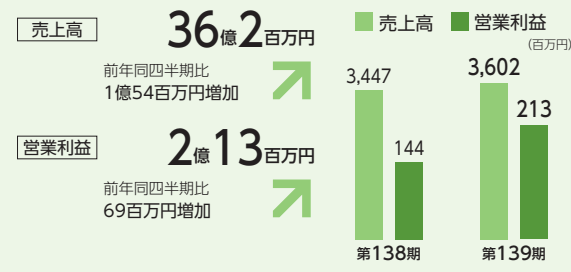


ハノイ市ハドン区新築住宅

ベトナム、ハノイ市の新規住宅開発地域において戸建用屋根瓦に当社塗料が採用されています。

- ・東南アジア市場では自動車生産台数の回復を受け自動車部品の販売が増加し、売上高が前年同四半期を上回りました。
- ・中国市場では新型コロナウイルス感染症の影響による全般的な需要の落ち込みから緩やかに回復し、売上高が前年同四半期を上回りました。
- ・北中米市場では自動車生産台数が回復に転じたことで自動車部品の販売が増加し、売上高が前年同四半期を上回りました。
- ・利益面では、売上高の増加に伴い、前年同四半期を上回りました。

照明機器事業

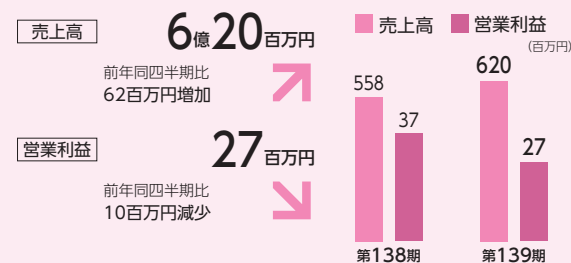
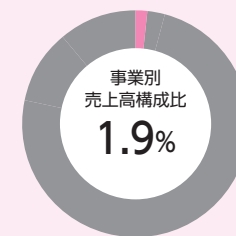


施主
三井不動産レジデンシャル(株)、丸紅(株)
撮影
荒木文雄

神奈川県横浜市の「ザ・タワー横浜北仲」塔屋部分(屋上に突き出た部分)にDNライティング(株)の照明機器が採用されています。

- ・業務用LED照明分野では東京オリンピック・パラリンピック開催期間中の需要の落ち込みがあったものの、UV照明分野で紫外線除菌新製品の販売が増加し、売上高が前年同四半期を上回りました。
- ・利益面では、売上高の増加に伴い、前年同四半期を上回りました。

蛍光色材事業

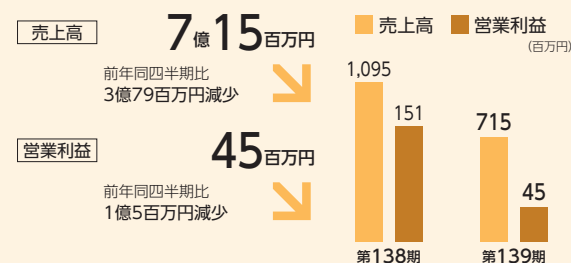
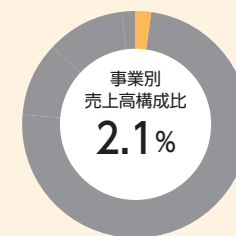


管轄：国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所

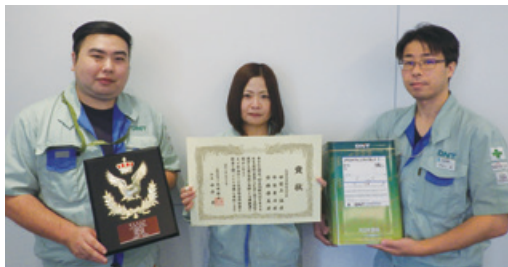
洪水対策の一環として、河川量水計にシンロイヒ(株)の蛍光塗料が採用されています。

- ・顔料分野では海外市場において新型コロナウイルス感染症の影響による需要の落ち込みが緩やかに回復し、売上高が前年同四半期を上回りました。
- ・利益面では、国内市場において高付加価値品の需要が減少し、前年同四半期を下回りました。

その他事業(物流・塗装工事)



当社塗料「アクアマリントックレス」が
2021年度色材協会・技術賞を受賞しました。



(一社)色材協会が主催する2021年度色材研究発表会が開催され、当社塗料「アクアマリントックレス」が技術賞を受賞しました。

本塗料は皮脂による塗膜軟化や汚れを防止する水性塗料であり、受賞にあたっては、技術の革新性の観点から高い評価をいただきました。

「アクアマリントックレス」の概要

扉や手摺など、人の手が触れやすい箇所は、皮脂が塗膜内に浸透していくことで塗膜が軟化し、黒ずみなどの汚れや塗膜の剥離を引き起こします。

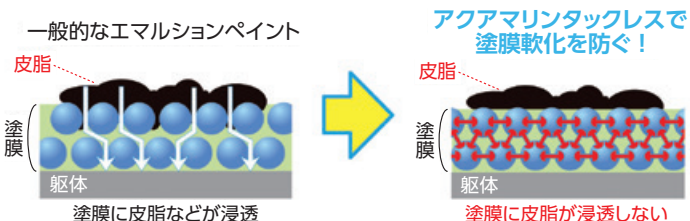
アクアマリントックレスは、塗膜の樹脂粒子が互いに強く結びつく構造により、黒ずみ、塗膜剥離の原因となる皮脂の浸透を防ぎます。

◎特長

- 皮脂による塗膜軟化や汚れに強い。
- 粘着性(タック)のない塗膜を形成する。
- 耐水性、耐アルコール性に優れている。
- 水性で環境に優しい(放散等級F☆☆☆☆)。
- 速乾性で、かつ仕上がりが良好である。

現在、アクアマリントックレスは超低臭、耐候性、耐久性といった機能を更に向上させ、クリヤータイプも追加した「アクアマリントックレス凜」として販売しております。また、今後は本塗料の性能に加え、抗菌・抗ウイルス効果を付与した製品のリリースを予定しています。

《皮脂軟化による塗膜剥離の事例》



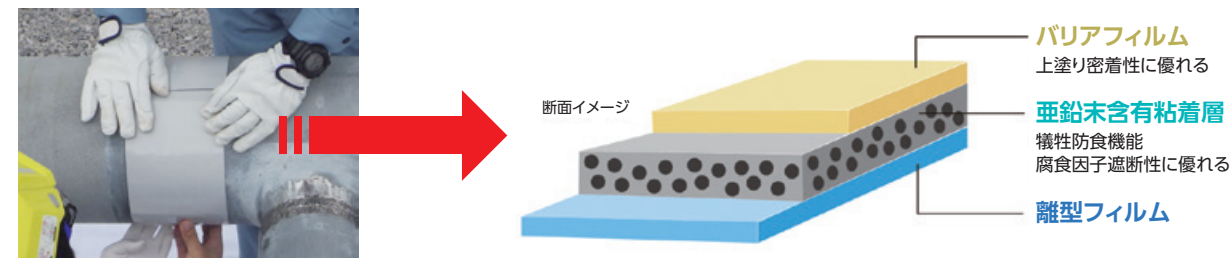
Topics 「塗る」から「貼る」へ！
貼る重防食シート「メタモルシート#1」

トピックス

当社は、積水化学工業(株)と共同で、「簡単」、「省工程」、「品質」、「安全」をキーワードに業界初となる重防食機能をもったシート「メタモルシート#1」を開発しました。

腐食した鋼材のサビを落として本製品を貼るだけの簡単施工のため、足場設置により傷ついた鋼材や配管の溶接部などの補修作業における省力化・省工程化に貢献します。

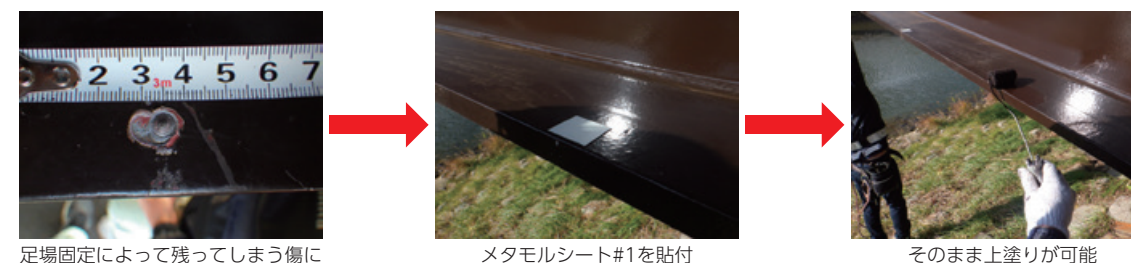
《メタモルシート#1の構造》



◎特長

- ◆施工性：サビを落として貼るだけで、すぐに上塗りが可能。
⇒乾燥を待つ必要がないため、「塗る」よりも早く施工ができる。
- ◆長期耐久性：粘着層に配合されている亜鉛末の動きにより犠牲防食機能*を有するため、亜鉛末を含有した塗料と同等の防食機能が得られる。
- ◆自己修復機能：シートに傷が入った場合でも温度変動によりシートが膨張し、欠陥部を修復する。
※鉄部が露出した際、周囲の亜鉛が鉄より先に溶け出すことで素地を酸化から守る機能

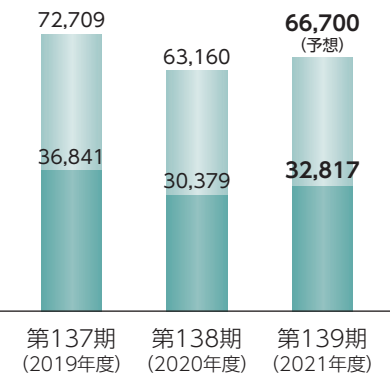
施工事例



売上高 (百万円)

32,817百万円

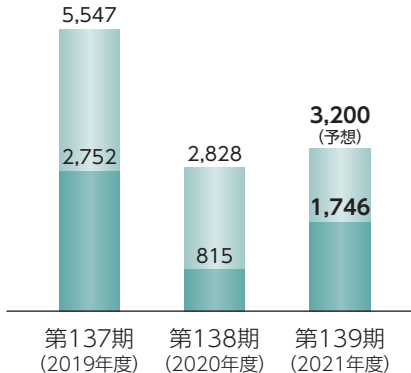
前年同四半期比 8.0%増



営業利益 (百万円)

1,746百万円

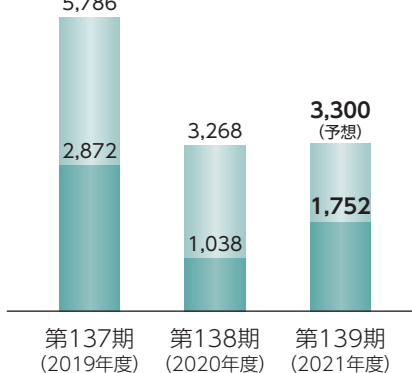
前年同四半期比 114.2%増



経常利益 (百万円)

1,752百万円

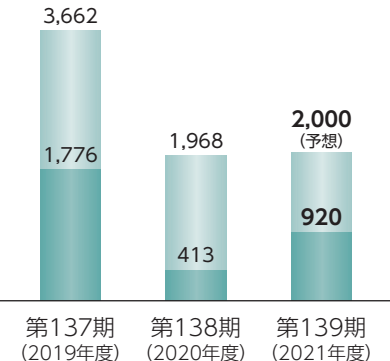
前年同四半期比 68.7%増



親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)

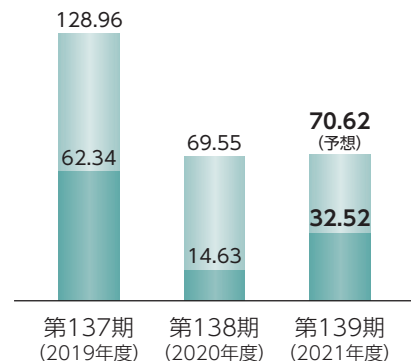
920百万円

前年同四半期比 122.5%増



1株当たり四半期純利益 (円)

32.52円

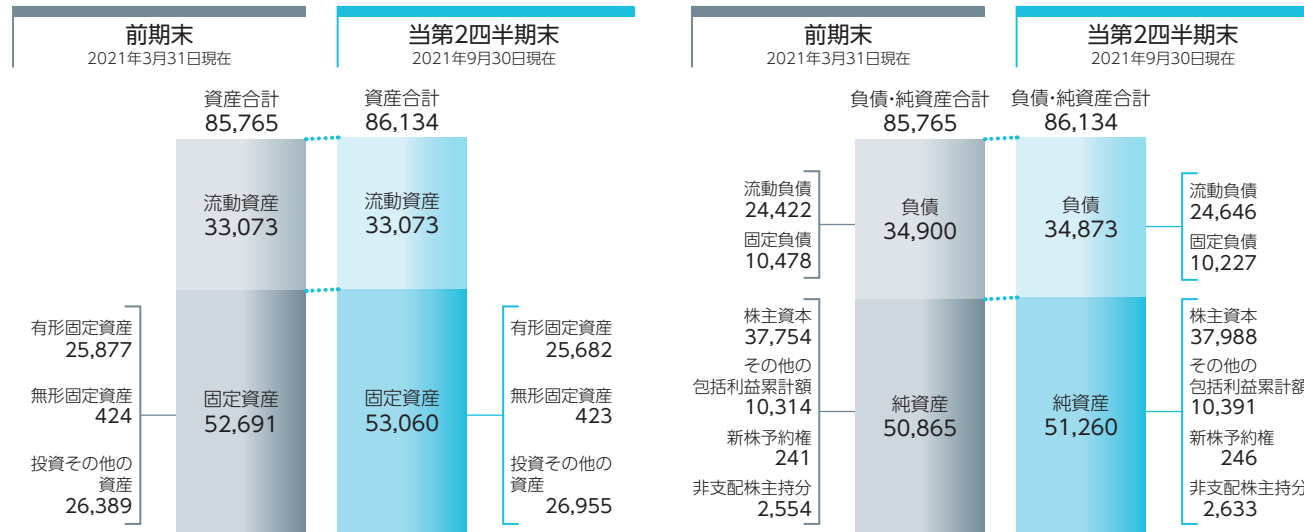


《会計基準の変更につきまして》

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

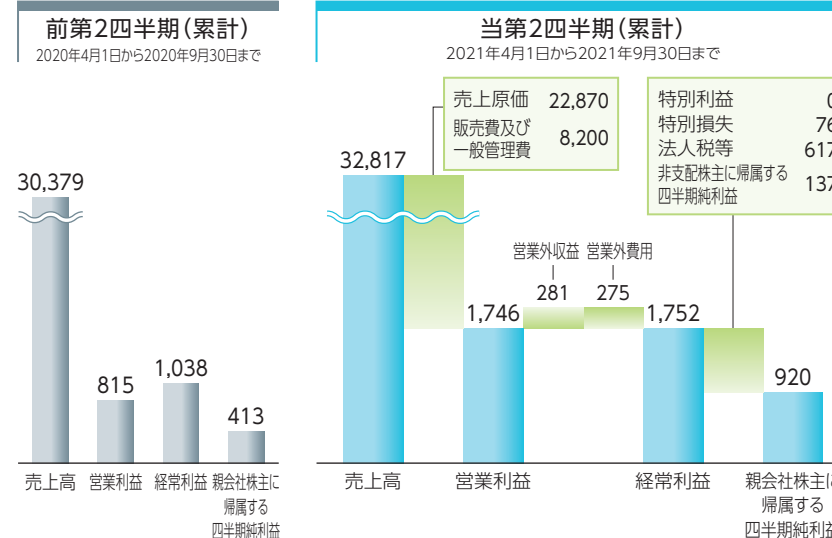
当中間報告書において、前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間並びに前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

四半期連結貸借対照表(要旨) (百万円)

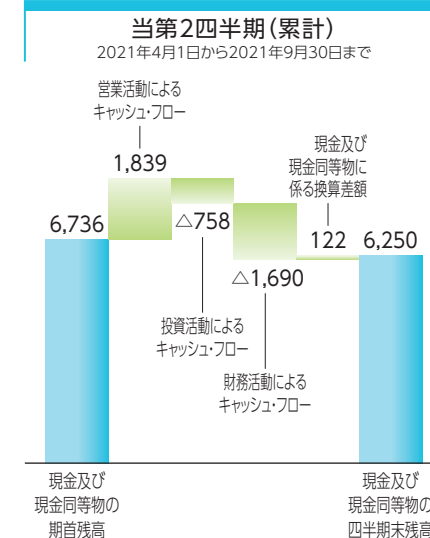


(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨) (百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

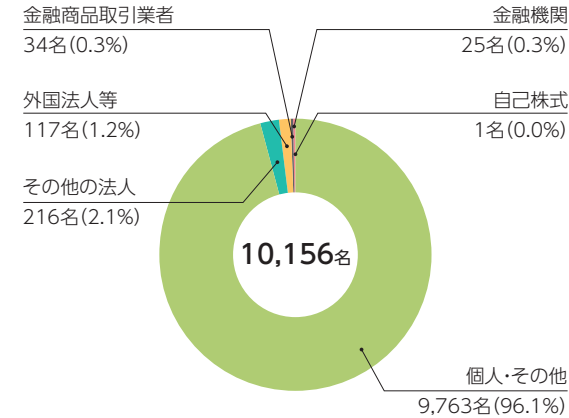
発行可能株式総数 93,280,000株
 発行済株式の総数 29,710,678株
 株主数 10,156名

●大株主(上位10名)

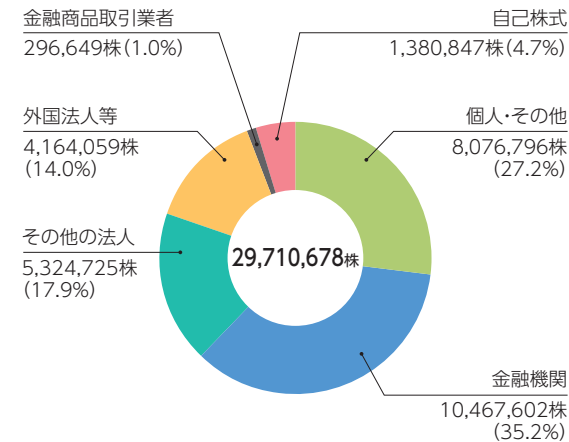
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,833	10.0
明治安田生命保険相互会社	1,400	4.9
DNT取引関係持株会	1,283	4.5
株式会社三菱UFJ銀行	1,228	4.3
三菱商事株式会社	1,188	4.1
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,068	3.7
東京海上日動火災保険株式会社	1,013	3.5
富国生命保険相互会社	1,000	3.5
株式会社島津製作所	1,000	3.5
BNYMSANV AS AGENT/ CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	842	2.9

(注1) 自己株式(1,380,847株)を除いて記載しております。
 (注2) 持株比率は自己株式(1,380,847株)を控除して計算しております。

●所有者別株主分布状況



●所有者別株式分布状況



●主な事業所/子会社及び関連会社

●大日本塗料株式会社

本社(大阪)、東京営業本部(東京)
 那須事業所(栃木)、小牧事業所(愛知)
 東京、名古屋、大阪 他16営業所

●子会社及び関連会社

国内塗料:

大日本塗料北海道(北海道)
 日塗化学(株)(東京)、千葉化工(株)(千葉)
 ジャパンパウダー塗料製造(株)(愛知)
 日東三和塗料(株)(滋賀)
 サンデーペイント(株)(大阪)
 DNTサービス(株)(大阪)、岡山化工(株)(岡山)
 DNT山陽ケミカル(株)(広島)
 (株)宇部塗料商会(山口)
 ビーオーケミカル(株)(福岡)

照明機器:

DNライティング(株)(神奈川)
 ニッポ電工(株)(秋田)

蛍光色材:

シンロイヒ(株)(神奈川)

その他:

日塗エンジニアリング(株)(神奈川)
 ニットサービス(株)(大阪)

海外塗料:



●会社概要

商号	大日本塗料株式会社 Dai Nippon Toryo Company, Limited
本社	〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11
設立	1929年(昭和4年)7月25日
資本金	8,827百万円
従業員数	2,226名(単体:716名)
主要な事業内容	塗料・ジェットインクの製造、販売 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等

●役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	里 隆 幸	取締役(社外取締役)	灰 崎 恭 一
取締役常務執行役員	木 村 直 之	取締役(社外取締役)	向 原 通 隆
取締役常務執行役員	永 野 達 彦	取締役(社外取締役)	林 紀 美 代
取締役役員	野 田 秀 吉	常勤監査役	小 林 正 樹
取締役役員	山 本 基 弘	常勤監査役(社外監査役)	杉 浦 秀 樹
		監査役(社外監査役)	藤 井 浩 之